

エンド・ゴールでの活動報告

社会福祉学部社会福祉学科 2年 渡邊 輝一

活動先：NPO 法人 エンドゴール

クラス：村上 徹也 先生

今年度のゼミで一番の大きな活動といえるサービ斯拉ーニングについて活動報告レポートを書こうと思う。エンドゴールで活動。活動日数は11日間。約3か月に及ぶものになった。それぞれの活動を日にちごとに考察していこうと思う。

○8月21日：エンドゴールでインターンの人が18人いて、サービ斯拉ーニングが私を含め3人。ここで私は他大学のの人に圧倒されてしまった。なぜなら、全体の場で自己紹介をする際、自ら立候補して自己紹介をしていた人が何人もいた。その光景をみて、頭の中が真っ白になったことを今でも覚えている。Cグループという6人編成の班に配属された。

○8月28日：初日の反省から、私は変わらなければいけないと気づき始めた。6人を2グループにさらに分け、「フリーステーション」という少人数の座談会形式の講演会を行うことが私たちの最終目的になった。今後の計画、講師選択、調べ学習をこの日は行った。

○8月29日：街コン・知多コンを行っているA to Zの山本さんのフリーステーションで、街コンを知多で行う理由は、名古屋の人が知多に集まることで、知多半島の地域活性につながると聞いた。いろいろな意味・想いが詰まっている山本さんの活動に心を打たれた。また、半田観光協会の松見さんにお会いして、「観光とは地域外の人との交流」と聞いた。私たち学生に向け、「人間関係が一番大事」と教えてくださった。「自分を成長させる近道は、知識のある人についていくこと」という話にまったくその通りだと感心させられた。

○8月30日：NPO法人りんりに自らアポを取り、訪問した。理事長の下村さんは、りんりんは子育てをしながら仕事をする場所がなく、働く環境がなかったため始めたという。ニーズに応じていく姿勢に心を打たれた。「子育ては自分育て」という言葉があった。この言葉は将来生きると思うから、忘れずにいたい。また、市民ファンド合同説明会に参加した。ここでは初対面の様々な職種の方に自ら接することができたのは自分の成長を感じた。この日の終わりに3グループで中間発表を行ったが、私は自ら挙手をして発表をすることができ、話をその場でまとめる力がついたことなど自分の成長を発見できた。

○8月31日：まるは食堂の坂野さんを訪問した。坂野さんは、こだわり・想いがとても強く、熱い方で、物事の考え方について人間教育を大いに受けさせてもらった。その後、地域福祉サポートちたの岡本さんとお会いして、「若者が若者に伝える機会がない」と聞き、私たち次第でそれは実現可能だと感じ、フリーステーションに若者を呼びたいと思った。

○9月1日：共育ネット半田の水野さんにアポを取り、活動に参加し、障がい児とバスケットボールをした。いつもと違った学びをここですることができ、いい勉強となる。その後、大まかにフリーステーションの講師を決め、チラシを作成した。チラシを作成したのは初めてであったため苦戦した。しかし、エンドゴールの方や他のグループの方の意見を借り、良いものができた。また、社会福祉協議会の社会福祉士の前山さんにアポをとった。

○9月4日：前山さんと会えて、社会福祉を学んでいる私としては地域福祉を築いているとてもいい機会をいただけた。福祉共育を受けた子どもたちが大人になったときその効果を発揮するので、これからの鍵となるといっていた。また、ひきこもり経験者であるキャリアカウンセラーの石田さんとお話をした。人を巻き込む力が石田さんにはあり、身振り手振りといったコミュニケーションの力がとても素晴らしかった。

○9月5日：共育ネット半田理事長の水野さんにお会いした。事前に訪問したため、質問を20個以上することができとても充実した。共育について大いに学ぶことができた。また、フリーステーションのゲストを決定した。ゲストは、まるは食堂坂野さん。人間として絶対的な器の大きさに惚れ、この方ならだれもが心を動かすであろうと確信できたからである。実際にアポをとり成功したため、9月20日にあいさつをしに行くこととなった。

○9月8日：サービ斯拉ーニングは終わっていないがこの日が全体研修最終日となった。初日にいた人たちと再び会って、報告する場だ。一番不安要素があった我々Cグループは、自信に満ち溢れた報告となった。様々な人と関わったため、人前で自分の意見をいう楽しさがわかるようになっていた。初日とは比べ物にならない成長を私はできたと確信した。

○9月20日：まるは食堂坂野さんと打ち合わせを行った。エンドゴールの職員の力を全く借りることなく実行でき、顔合わせだけで私たちは達成感を感じたことを今でも忘れない。

○10月19日：フリーステーション当日。今までの活動の集大成として計画を練った。参加者は約10人となり、理想の人数でのフリーステーションとなった。司会を担当させてもらい、充実したものとなった。これまでの活動で感想をまとめる役を何度も経験したため、今回も感想を代表して言わせていただいた。自分の考え・思想を他者に伝えられることは素晴らしいことだと思う。人前で話すことは恥ずかしいことではなく、むしろありがたいことなのだと思うようになった。これが最終日に得た、私にとって大きな経験値である。

以上が活動内容である。人前で自分の意見を言えるようになったのが一番の成長だが、「知りたい」と思う気持ちが強くなった。チームワークの大切さも実感した。限られた時間でできることの多さを発見できた。地域には素晴らしい人で溢れていることを目で確認できた。たった数日の活動だったが、得たものの多さは図りきれない。エンドゴールの職員さんの力に感謝しきれないものとなった。最大の恩返しは自分の行動で見せたいと思うので、このサービ斯拉ーニングで学んだことを社会で役立て、日々飛躍していきたい。